



## 「高梁市の将来に向けて」

高梁市地域包括支援センター 藤森由美子

高梁市の高齢化率は42%を超え、1.2人で1人の高齢者を支える構図になっています。地域包括支援センターへの相談内容で多いのは認知症に関する相談です。国は「予防」と「共生(ともに暮らす)」を目指しています。

高梁市では「認知症施策検討委員会」で認知症に関する様々な課題を取り上げ検討し、認知症を理解すること、できるだけ長く地域で暮らせる環境づくり、診断をうけてもあたりまえの暮らしができるだけ長く続けられることを目指しています。

しかし、まだまだ「認知症になってしまった」という言葉を聞く場面が多々あり、「認知症」=何もわからなくなる病気、何もできなくなる病気と思うと言われます。脳の障害により将来的にはその可能性はありますが、すべての人が同じ状態ではなく、それぞれの人にこれまで生きてきた経験や知恵、思い等人生のドラマがあり、忘れることはあっても続いていくと感じています。

今年度は「チームオレンジ」という認知症の方も含めた地域づくりができることを目指して、あたりまえの生活を一緒に支えてくれる人たちを一人でも多く増やしたいと考えています。「高齢だから何もできない」と思わず、ぜひ、役割を持ち自身の介護予防に興味がある方は地域包括支援センターへご連絡ください。(☎ 21-0300)



## コロナを適切に恐れ、家族との繋がりを守る

社会福祉法人福実会 高齢者総合福祉施設ちかのり



お届けします職場情報

平成14年10月ケアハウスちかのり荘が開所し、社会福祉法人福実会は今年20周年を迎えます。要支援1から要介護5の方がご利用いただける介護サービスに加え、認知症カフェ、認知症サポーター養成講座等地域住民に向けた活動も積極的に取り組み、高齢者総合福祉施設として地域老人福祉のニーズに応えてきました。

福実会では感染症対策安全衛生委員会を設置し、感染予防と感染拡大防止についての意見交換や見直し、研修の企画を行っています。生活の場である介護施設において、生活空間の中でどう対応するか、過剰な対策にならないよう、感染に対する正しい知識を持ち、理解し様々なリスクから入居者を守ることを念頭に日々の業務に取り組んでいます。コロナ禍の現在、外部からの感染源持ち込みを防ぐため、ご家族との面談はオンラインやガラス越しとなっています。入居者とご家族の繋がりを絶やさない取組みとして、独自にSNSの随時更新・写真付きのお手紙送付を毎月行い、好評を得ています。

日々の業務、自身の感染対策と気が抜けない日々が続いていますが、職員一人ひとりが意識することで施設内はもちろん、地域の感染予防にも貢献できるのではと思います。

福実会のロゴは笑顔がモチーフです。日々の業務、自身の感染対策と気が抜けない毎日ですが、笑顔を忘れず職員一人ひとりが意識し、施設内はもちろん地域の感染予防に貢献してまいります。

ここで一句

コロナでも 家族の絆 絶やさずに



看護会議の様子



感染研修の様子



ご家族へのお手紙

### \* 研修会のお知らせ \*

### 若い人材確保のため、学校訪問をしています

### 高梁かんばんと

#### \* 口腔ケア研修会(多職種)

日時:7月27日(水) 18:30~  
場所:高梁総合文化会館  
講師:歯科医 樋口亜由子先生  
内容:口腔ケアの実践(仮)



#### \* 皮膚・排泄ケア研修会(看護職)

日時:9月22日(木) 18:30~  
場所:高梁市役所3階会議室  
講師:丸橋認定看護師  
内容:事例検討会  
褥瘡、失禁関連皮膚炎等

#### \* 認知症研修会(多職種)

日時:10月18日(火) 18:00~  
場所:たいこまるプラザ  
講師:たいようの丘ホスピタル  
精神保健福祉士・作業療法士

本年度も、高梁市地域医療連携課と訪問しました。4月に吉備国際大学、新見公立大学、倉敷看護専門学校、川崎医療短期大学など県西部の11校を病院看護部長等と訪問しました。

コロナ禍で県外からの学生が減少していること、また、地元志向が若干増えていることなどの情報がありました。今後さらに高梁の魅力発信をしていくことや、住みやすい街づくりをし、働きやすい職場環境にすることが若い人材の定着に繋がると感じました。

また6月には、県西部の高等学校も8校訪問し奨学金制度について説明しました。

事務局:担当 細川  
TEL:0866-22-3801  
FAX:0866-22-7794

E-mail:[kangonet@ps5.harenet.ne.jp](mailto:kangonet@ps5.harenet.ne.jp)

今年度の皮膚・排泄ケア研修会は、事例検討会としています。日頃困っている事例がありましたら、是非情報を送ってください。ご本人またはご家族の了解をいただいた写真があれば、それをもとに勉強したいと思います。8月末まで受付けます。



ご質問、ご意見はかんばんと事務局までお願い致します。2022.7